

2025年1月

全国大学国語教育学会 会員の皆様

全国大学国語教育学会

海外のジャーナルによる論文の無断掲載について注意喚起と情報提供のお願い

標記の件に関し、教育関係の複数の学会から注意喚起などを求める通知が出されております。

以下、本学会も加盟する「教育関連学会連絡協議会」事務局から出された「注意喚起と情報提供のお願い」の主要部分をお示いたします。

(前略)

過日、日本教育政策学会の会員から、学会の年報に掲載された研究論文が無断で英訳され海外のジャーナルに掲載されていたとの連絡がありました。本人が投稿したわけでも、掲載を了承したわけでもないとのこと。また、そのジャーナルから掲載料を請求されてもいないようです。とはいえ、二重投稿の疑いを招きかねないため、削除依頼などの対応を進めています。この件について調べたところ、上記の会員のほか、少なくとももう一人の会員の論文が同様に英訳され掲載されていました。

金品を請求することなくわざわざ翻訳してジャーナルに掲載する目的がどこにあるか判然としませんが、原著者自身による研究不正を疑われかねないことが行われていることは重くとらえなければならないと思っています。

重大な問題だと思いますので、関連協のみなさまに情報提供していただくとともに、同様の情報をおもちの場合はそれをご提供いただけないかと希望しています。

(後略)

この内容には、事実関係等について詳細が不明な点も若干あるものの、関係諸学会が行動を起こしている以上、本学会も同様に、会員に向け「注意喚起と情報提供のお願い」を行いたいと考えます。

会員の皆様におかれましては、「金品の請求」や「研究不正への加担」等の危険性もないとはいえませんので、ご自身やお知り合い等に該当または関係する問題事象が見受けられましたら、まずは一度、全国大学国語教育学会事務局(jtsj-post@as.bunken.co.jp)まで情報をお寄せください。常任理事会等で精査の上、関係学会や協議会へ連絡し、対応策を協議することといたします。

本件につきまして、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。